



(公財) JKA補助事業 平成25年度事業概要

② 国際交流事業 (国際超電導産業サミット)

ISIS-22 (国際超電導産業サミット) は加盟国 (地域) の持ち回りで毎年開催されている。今回は5年ぶりに日本での開催となり、平成25年11月20日 (水) 東京にて行ったボードメンバによるエグゼクティブミーティングの後、本会議を平成25年11月21日～22日 山梨県富士河口湖町富士ビューホテルに移して開催した。

この会議は超電導における研究開発の状態と将来について産業界、政府と大学との国際的協力と公開論議を促進することを目的として、超電導先進国における関連業界のトップが参加し超電導の実用化推進についての討議が行われた。

今回の会議の参加国は昨年新規に参加表明したロシアを加え、日本、アメリカ、ヨーロッパ、ニュージーランド、韓国の5ヶ国と一地域である。

参加人数の内訳は、主催国である日本が15名と最も多く、アメリカ8名、ヨーロッパ7名、ニュージーランド3名、ロシア2名、韓国1名の36名であった。

議題は「Strategic Approach to Commercialization (商業化への戦略的アプローチ)」とし、各国におけるプロジェクト、産業界の流れを紹介し今後のプロジェクトについてなど意見の交換を行った。



会場 (富士ビューホテル)



会場内の様子



会場内の様子



参加者集合写真

第 22 回国際超電導産業サミットについては、超電導 Web21 バックナンバー2013 年 12 月号に「速報」として詳細が記載されているためご参照下さい。

http://www.istec.or.jp/web21/pdf/13_12/all.pdf